

## 消防団長紹介



### 岸和田市消防団 団長 椎木 康宏

岸和田市の歴史は、大正11年11月1日市制を施行、大阪府下では大阪市・堺市に次いで3番目に市制を施行し、今日に至っています。

全国的に有名な『岸和田だんじり祭り』は、五穀豊穡を祈願し行った稲荷祭がその始まりと伝えられ、300年以上の伝統がある勇壮な祭りです。9月は浜手地区、10月は山手地区と年2回行われています。

地理は、大阪府の南部、和泉海岸平野のほぼ中心に位置し、北東は和泉市・忠岡町、南西は貝塚市、南は和歌山県に接し、西は大阪湾に面しています。大きさは東西に7.6km、南北に17.3km、面積は72.72km<sup>2</sup>、人口は194,241人（いずれも令和元年12月1日時点）で、海から山にかけ南北方向に細長い市域形状となっており、地形は北から臨海部・平野部・丘陵部・山地部のほぼ4つの地帯に区分され、臨海部は工業地域、平野部は住居と商業の混合地域、丘陵部は産業と農業の混合地域、山地部は森林地域として利用されています。

消防団の歴史は、昭和22年10月に従来の警防団を解除、消防団を結成し、昭和30年3月25日に消防団を解除、水防団に切り替わり、平成17年4月1日に消防団を再結成、現在に至ります。条例定数30名実員30名、葛城上分団と大沢分団の2分団で構成されています。（令和元年12月31日時点）岸和田市南部の山地部、大沢町・塔原町・相川町の全域（和歌山県との県境までの山地を含む）を管轄しており、大沢分団は大沢町、葛城上分団は塔原町・相川町が管轄地域となっています。

活動状況は、毎月の管内警戒パトロールや火災予防運動期間中の広報パトロールのほか、消防団単体での訓練や消防署との合同訓練を実施しています。また大阪府消防協会が実施する各種教育訓練にも積極的に参加しています。

私は、平成17年3月31日まで、大沢町自主防災会に所属し、平成17年4月1日に入団以来、平成17年4月28日に分団長、平成21年4月1日に副団長、平成26年4月1日には団長に任命されました。

消防団活動において記憶に残っている出来事としては、平成29年10月の台風21号の豪雨により、消防団管轄地域で発生した大規模な土砂崩れにより河川が堰き止められたことによる地域一帯のダム化は、岸和田市がこれまで経験したことの無い大きな災害でした。日没後の豪雨の中、急速に水位が上昇し団員の自宅も濁流に沈んでいくという一刻の猶予もない状況下で、団員が一致団結しダム化した地域一帯の避難誘導を行ったことは、生涯忘れることのできない活動です。

地域を守るという強い意志のもと、これからも地域に密着した活動・地域の住民に寄り添う活動を続けていくとともに、消防団管轄地域の拡大と条例定数及び実員増にも積極的に取り組んでいきます。